



トロント新移住者協会

にゅうすれたあ



New Japanese Canadian Association • 6 Garamond Court, Toronto Canada M3C 1Z5 • www.torontonjca.com • info@torontonjca.com



新日系コミッティーと加盟団体代表による初のミーティングにて (5月22日撮影)

総会を終えて



去る2015年4月17日(金)のトロント新移住者協会年次総会にて、日系文化会館の傘下になることが決定しました。

2015年4月17日における会員数159名中、出席者63名、欠席の委任状提出者33名となり、通常よりも倍以上の参加となった今回の総会からは、やはり関心度の高さが見受けられました。通常より1時間延長しての年次総会となりましたが、結果は出席者のうち投票権のある39票と委任状の33票を足して合計72票のうち、52票の賛同を得て可決いたしました。(可決には半数以上の同意が必要となります。)

トロント新移住者協会(New Japanese Canadian Association : NJCA)は新日系コミッティー(New Japanese Canadian Committee : NJCC)となります。NJCAの40年という長きに渡る歴史を重んじながら、時代とニーズに即した方法を取り入れ、日系社会の未来のために皆で心をつなげて前に進んでいきたいと思えます。

NJCCの活動予定

- 【5月30日】JCCC桜ガラにNJCCメンバー10名出席予定。
- 【7月4日】JCCCノスタルジアナイトのコミッティーメンバーとして企画遂行中。
- 【7月11日】JCCC夏祭りのコミッティーメンバーとして企画に携わり、当日は例年のごとくゲームとNJCC玩具プロジェクトを担当する。
- 来期より、NJCCから2名、JCCC理事として候補にあがっている。
- NJCCプロジェクトとして、トロント紅白実行委員会が立ち上がった。
- 他、HBR運営委員会、日本語教育プロジェクト共に、新しい方向性に向かい、各プロジェクトごとにミーティングが行われている。

決定内容のまとめ

* 詳細については、3月27日発送のにゅうすれたあ134号をご参照ください。

名称

New Japanese Canadian Committee (NJCC)
「新日系コミッティ」

会費

JCCCのみに支払い。新会員の場合は、2015年度は特別価格
\$20 + HST = \$22.60

* 支払先: Japanese Canadian Cultural Centre
6 Garamond Crt. Toronto, ON M3C 1Z5

* 裏にNJCAの印鑑がある申込書のみ有効。
* 会費には消費税がつきますので、合計額にご注意ください。
* 特別料金適応期限は2015年6月末までです。

理事会

NJCA理事会は解散。NJCCコミッティはNJCA理事から7名、JCCC理事会から4名の構成で執り行う。NJCCコミッティミーティングを定期的に行い、活動報告はJCCC総会でを行う。

HBR

本来であれば2015年9月で終了となるが、更に2016年9月までの1年間使用できるようにNJCA資産より経費を負担(約\$15,000)することがNJCA理事会で承認された。

イベント

「お正月会」はNJCCがリーダーシップを執り行う。お正月会コミッティをつくる。(公的機関からの規制が厳しくなっているのでJCCCの規定に従い行う。)
「BBQ」は2年前から中止となっているが、復活について幾つか案が出ている。「夏祭り」の一部に加える形での案も出ている。その他、企画したいイベントがあれば、案と企画書を用意、提出のうえNJCCコミッティと一緒に検討していくようにしたい。

日本語教育プロジェクト

今までと同様に研修会やセミナーなどを年に数回行う。

おもちゃプロジェクト

今までと同様イベントに出店、他のイベントに展示など活動を広げていく。

会計

現時点で\$55,000の資産はNJCCの管理となる。加盟団体や日系団体の為のサポートなど有意義に使用する。\$500以内はコミッティ内で決める。\$500以上はコミッティメンバーと加盟団体の承認を受ける。会計報告はメーリングリストを通して報告する。

新日系コミッティ組織紹介

コアメンバー



代表:
原あんず



代表:
呉美紀



広報:
レイノルズ洋子



外交:
内藤洋子



会計:
服部江理子



相談役:
中山あつ子



相談役:
森貞一弘



相談役:
吉田タック



JCCCより:
ジェームス・ヘロン



JCCCより:
シャロン丸橋



JCCCより:
石原治子



NJCCプロジェクトメンバー

- 日本語教育プロジェクト委員長: 嘉納もも
- おもちゃプロジェクト: 澤原こずえ
- 紅白: 中山あつ子
- お正月会: コミッティメンバー全員
- HBR: 中山あつ子

NJCC加盟団体

- 日修学院: 代表 カーン伸江、ヒギンズ富美
- 日加学園: 代表 浜場真紀子
- 国語教室: 代表 橋本美佐江、木田美智子
- NJCAゴルフ: 代表 安部まり
- FTF(ファミリートークスフォーラム): 代表 伊東あいこ
- JFT(ジャパンフットボールクラブオフトロント): 代表 渡辺レオ
- 歌声喫茶: 代表 中村ゆき
- IIECインターネットクラブ: 代表 高部克彦

会長の挨拶

会長 原 あんず



みなさん、こんばんは。

本日は、来賓の皆さま、会員の皆さま、新移住者協会の総会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

今年度の総会は、新移住者協会の将来を決める大事な話し合いがあるせいでしょうか、例年よりずっと参加者が多い気がします。大変嬉しいことです。

私の挨拶ですが、言いたいことはこのプログラムの挨拶の部分に書かせていただきましたので、ここであえてそれを読ませさせていただきます。

今年で新移住者協会の理事は15年目、会長は2年目となりましたが、引き続き新移住者協会の世代継承に務め、日系社会の真のニーズのための、新移住者協会の使命を模索しながら、その方向性と将来性を精一杯考えてまいりました。

来年で40周年を迎える新移住者協会ですが、その活動趣旨は今も変わりません。そして、これからも変わることはないことを願います。

しかし、時代の流れによる日系社会内でのニーズもダイナミクスも変化しつつある中、私達新移住者協会は、具体的に何を使命とし、どんな活動を行うべきなのか、ということを経理事を含む会員の皆さんに考えていただきたいと思います。私に関わってきたここ15年の新移住者社会と日系社会は明らかに変化しています。

新移住者にとってまだ何も情報がなかった当時、この新移住者協会の先輩方がたくさん苦労して情報を集め、新しく日本から来る新移住者達へ提供していた時代から、新移住者がこちらで集まり、肩を寄せ合い、日本を懐かしむようなイベントを行いながら励ましあってきた。そして今、こうしてみんな無事に家族を作り、カナダ社会で生活をしています。

現在は、その新移住者の先輩方の高齢化の問題、その反対に、傘下団体のファミリートークスフォーラムでは、トロント近郊の1500もの国際結婚家族が登録して出産、子育ての情報を共有している。また、近年の日本食ブームによる若い実業家のトロント進出、ワーキングホリデー、留学生の受け皿となる日系企業の増加、移住者とその候補者が多様化してきています。

そして、家族が大きくなって、新移住者の子供達、孫達こそ日系カナディアンであり、彼らのくくりは新移住者ではありません。今や、新移住者は自分の世代だけではなく、家族という単位でそのヘリテージを大切にしていくなければなりませんか？

私たち新移住者にとって、本当に末長くいられる居場所を見つけるのであれば、それは日系社会全体を1つに考えることで、家族のみながいられる場所になるのではないのでしょうか。

これからの新移住者協会の使命は、新移住者が作る家族の将来とその居場所作りのお手伝いではないかと考えています。そのためには、新移住者と日系の隔たりはなく、お互いのバックグラウンドを尊重しあい、日系他団体との協力による知識のシェアにより、より多くの選択肢を提供でき、できるだけ多くの多様化した新移住者、日系人、あかちゃんからお年寄りまでを支えられるようなそんな豊かな日系社会づくりにむけての活動を、続けていくべきだと強く信じています。

来賓の挨拶

吉本徹也 日本国総領事館首席領事

日系人には2種類(戦前の日系人 vs. 戦後の移住者)に分かれていることについて、そのようにカテゴリーを分ける理由はないのではないかと感じています。カナダへの日本人移民は1877年より始まり、戦争で一時中断し戦後は少し途切れたが140年間続いており、常に新移住者がいる状態は変わりません。例えばですが、ビーカーの水に赤い色を落とすと色が溶け込み、ブレンドされていきます。時に強い影響の色が入ると水の色そのものが変わる可能性もあります。戦前の移住者は個性、影響力の強い方も多かったようですが、日本人、日系人への好印象ををよく浸透させてくれました。本日の総会での選択がどのようになっても支援を続けるつもりです。

来賓の挨拶(続き)

ゲリー川口 日系文化会館理事長



私と皆さんに唯一の違いがあるとすれば、それは言葉ではないでしょうか。私は日系3世ですので、皆様のお孫さんと同じ立場になります。我々は皆日系コミュニティの一員です。しかし世代が5、6世となれば、それだけ日本への繋がりは失われていってしまいます。戦前の移住者達は戦争時の苦勞を乗り越えてきたため結束が強く、戦後新しい移住者が

来たときに溶け込むことが難しかったということがあったと思います。しかし、いつカナダに来たのかというのは問題ではないのです。今私たちはひとつになり、大きな組織として強くなるのが未来にとって大切なことだと考えます。今回それを実行に向けて行動して下さる皆様のリーダーシップに心から感謝いたします。JCCCは1963年に数家族の資産を抵当にして日系コミュニティの憩いの場所として創立し、今年で50周年を迎えました。友好の絆で結ばれ強く育っていく日系コミュニティーのこれからを楽しみにしています。

ジェームス・ヘロン 日系文化会館館長



近年、NJCAとJCCCの関係はますます近くなったと感じます。色々な行事を協力して行えることを大変嬉しく思っています。7月4日(土)に行われる「ノスタルジアナイト」では、今年は特にNJCAの功績を称えるイベントとなります。新移住者協会の会員の皆様には、長年に渡りサポートをいただき、大変感謝しています。皆様のご協力を得ながら、会館は英語と日本語のバイリンガルになるよう努めてきました。日本語は、ここ十年ほどの間に、会館にとって非常に重要な役割を果たすようになり、これからもさらにその重要性は増していくでしょう。

言葉というのはカナダのような国においては、常に流動的なものです。移民のコミュニティにおいて、言葉は世代から世代に受け継がれる中で常に変化遂げていきます。移民の家庭では、複数の世代が一緒に住んでいると必ず、いくつかの言葉が混じり合うこととなります。この家、日系文化会館という日系カナダ人コミュニティのための家でも同じことが言えます。私たちは年齢においても、言葉においてもいろいろな者が世代を超えて混じり合っています。しかし私たちはもっと力強いもので結ばれているのです。それは共通の日本のヘリテージ、コミュニティの歴史と伝統に対する誇り、そしてカナダの多文化社会の中で我々がいかに重要な位置を占めているのかを世間一般に伝えたいという気持ちなのです。JCCCはみんなの場所です。お客さんではなく、家族の一員として参加いたしましょう。

2015年、OCSカナダがJ-Townに 日本語書店をオープンします

- 日本経済新聞米州国際版
- 朝日新聞国際版
- 雑誌定期購読
 - ◇ 早いエクスプレスサービス
 - ◇ お求めやすいエコ/ニ-サービス
- 書籍・雑誌のお取り寄せ
- 日本語学習教材 (教科書・CD等)
- 進研ゼミ・子どもチャレンジ
- 日本の文具、CD・DVD
- DVDレンタル
- トイレシート (INAX) ほか

みんなの街の本屋

ご質問やお申し込みはお気軽にどうぞ subs@ocscanada.ca / tel. 905-415-0611

阿含宗カナダ支部
Agon Shu Canada Buddhist Association

運を良くする先祖供養
九星で占う密教占星術
仏陀の輪廻転生瞑想法

お気軽にお問い合わせください。

55 Eglinton Ave. E. # 205 Toronto, ON
TEL: (416) 922-1272

質疑応答

事前に送られてきたコメント、質問

コメント NJCAがJCCCの傘下になることに賛成。JCCCを共通のホームとすることで、開放的で強力なコミュニティを作ることが出来ると思う。

コメント 賛成します。今後は日本人、日系人が一体となってJCCCを支えていきましょう。

コメント 日系コミュニティが強くとまることが重要。コミュニティ意識が薄らぐ中、ニューアイデアでしっかり頑張っていきたい。

コメント 皆で心をつなげてJCCCを応援していきましょう。

質問 NJCAがJCCCの傘下になることに賛成。HBRについて継続するために寄付を募ってはどうか？

回答 理事会で検討したが、金額が大きすぎ無理だという結論に達した。今後新移住者の憩いの場作りに関してもJCCCと共に皆さんとアイデアを出し合いながら検討していくつもりである。

質問 既にNJCAはJCCCの一部として活躍していると思う。JCCCはハードの部分の提供、NJCAはソフト面での日本語によるサービスの提供をしている。高齢移住者、国際結婚者の心のケアの日本語サービス等をNJCAがしていくべき。新しいことに挑戦してほしい。

回答 JCCCでの日本語でのサービスは十分ある。高齢移住者、国際結婚者の心のケアの日本語サービスはJSSが最適の場所である。私たちはJSSをサポートしていく。これからは世代を繋ぐ日系へのサービスの提供を目指す。

質問 理事会で十分に話し合われたのか？どれだけの賛同が得られたのか？加盟団体は本当に賛成しているのか？理事会議事録は閲覧可能か？

回答 理事会の総意である。十分に話し合われたと思う。加盟団体の代表理事は理事会に出席しており賛成を表明している。議事録は用意しているので、希望者に閲覧可能であるの協力があって、成り立っています。数ヶ月前からのプランに始まり、お正月会前日もたくさんの方が、この日のための準備に、時間と労力を費やしてくださっています。ここで、改めて、このお正月を開催するにあたり、尽力を注いでいただいた皆様に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。





Ocean Food CO. LTD
Sea Food Manufacturer Since 1980

新鮮！ 美味！

- ◎ 蒲鉾 ◎ 竹輪
- ◎ 薩摩揚げ ◎ 天ぷら
- ◎ シュウマイ
- ◎ その他の練り物

日本、中国、韓国食品店でお試しください。

3 Turbina Ave, Toronto, ON, M1V 5G3
Tel. (416) 285-6487
Fax. (416) 285-4012
info@oceanfood.ca
www.oceanfood.ca

栄養バランス満点！



 ウェインズ・カナダ

Weins Canada

新車・中古車・一般修理
板金/塗装/リース



Don Valley North Automotive Inc.は2012年、Weins Canada Inc.に社名変更いたしました。

Don Valley North Toyota Scion 3300 Steeles Ave. E., Markham 905-475-9722 支那	Markville Toyota Scion 5262 Hwy. #7, Markham 905-294-9100
Don Valley North Lexus 3128 Steeles Ave. E., Markham 905-475-1625 龍山	Lexus of Richmond Hill 11552 Yonge St., Richmond Hill 905-883-2812 龍本
Don Valley North Hyundai 7537 Woodbine Ave., Markham 905-513-6878	Oakville Volkswagen 1355 N. Service Rd. W., Oakville 888-577-3419
Audi Centre Oakville 1345 N. Service Rd. W., Oakville 888-313-1997	Collision Repair Centre 391 John St., Thornhill 905-886-0434 山口

質疑応答(続き)

会場での質疑応答、ディスカッション

会員 NJCAがJCCCの傘下決議をとる前に、緊急動議として「これより3ヶ月後に臨時総会をおこない傘下決議の採決をとる」ことを提案する。その提案理由はにゆうすれたあが発行されてから3週間というのは短すぎる。250人の会員全てが認識する時間が必要と思われる。また、NJCCとなってどのように総意を反映できるのかを考えていくことが必要なのではないか。

会員 NJCAはJCCCのもとにあつて当たり前のことである。傘下になるということに関して、今が一番良い時なので、(先延ばしにせず)今決めなければいけないことと思う。

回答 臨時総会を3ヶ月後に設けるべきかどうかの採決を取ること。賛成;15票(投票権72票)→反対多数にて否決。臨時総会はなし。

理事 推進している若手理事たちは十分な仕事をしている。今後も頑張ってもらいたい。

来賓 JCCCでも今からちょうど20年前に、JCCCの引越しの是非にあたり激しい会議が行われていた。その際当時JCCC理事であった新移住者の2人の賛同が大きな後ろ押しとなった。賛成、反対どちらも日系コミュニティのためにという思いからであった。結果として、今の場所に会館を設置し、私たちはより大きなコミュニティとなることができた。大切なことは、未来を見つめて一緒に育ち大きく、良くなろうとする皆の心である。当時はなかった日本語も、もちろん今は会館の中で息づいている。

来賓 JCCCは皆一緒にいるべきもので、会館は君たちが必要であり、君たちは会館が必要なのである。カナダの中で、

日系人コミュニティは小さなものに過ぎない(約22,000人)。アジア系の中でも小さい。中国人コミュニティ、韓国人コミュニティ、フィリピン人コミュニティと比べると、我々は比較にもならないほど小さい。私たち日系人コミュニティは皆がまとまり一緒になって、強いコミュニティになるべき。時間を無駄にせず、行動を起こすときがきているのだ。目先のことにとらわれず、大きな世界を見つめよう。

理事 今日会員の方々からの意見が聞けたことは、とても良かった。NJCAと関わったのは短いけど、自分たちの出来る範囲でNJCAの意図してきたものを今後も継承していきたい。



ダイヤモンド、カラーストーン、
各種パール、カスタムデザイン、
リモデリング、修理

SEIKO *Noritake* SEAGULL
PEWTER

Kobo Jewellery
6 Garamond Court, Suite 245, Toronto M3C 1Z5
(日系文化会館2階)
Tel: 416-384-0008 Fax: 416-384-0013
kobjewellery@bellnet.ca

土曜日の営業時間が **9:30-16:30** に拡大延長!

TATA 加盟店 アレンジはドコにも負けません。

最安値宣言

日本行き
 アメリカ行き
は大得意です!

カナダ・ファンドレイジングプログラム
IACE TRAVELは各種団体の運営のお手伝いをします。
航空券の予約一件につき、\$10を団体様に寄付させていただきます。

ご興味ある方は是非ご一報下さい!

JRバス 日本帰国の際には、
がたつてもお得!!
即日発行できます。
7日間乗り放題・オーディナリーパス
¥29,110
長期バス・グリーンバスもごさいます。

Since 1976 **IACE TRAVEL** 800-931-4223
torontofundraise-canada.com
302-1240 Bay St., Toronto, ON M5R 2A7
営業時間
月-金: 0900-1800
土: 0930-1630



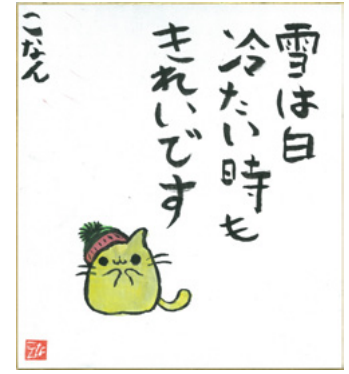
チュウジェイミ



デラビオ弘



アンダーソン理沙



小山こなん



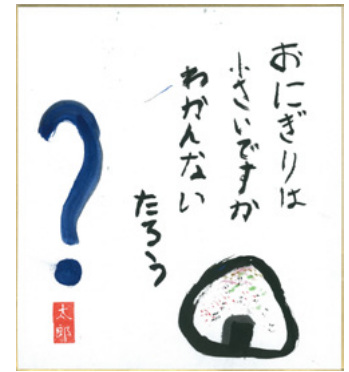
松元国康



高橋ブレンダン



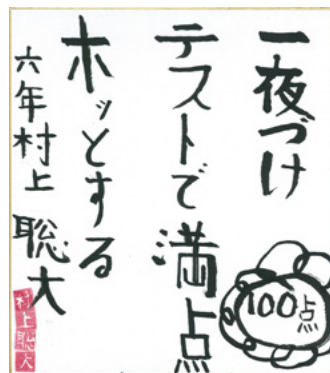
エルボマジシカ



嶋岡太郎



中本トーマス



村上聡大



ストロング梨里



池野ハナ



6年生の俳句の授業では、題材を決め、その中に季語(季節を表す言葉)を盛り込むことに意識しながら、句を作成する過程を楽しみました。

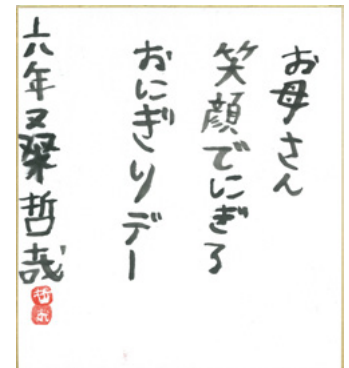
日修学院や、日本語学習に関する子ども達の思いが沢山つまった素敵な俳句が出来上がりましたと思います。

担任 西村智子

毎年修了式の節目にあたる6年生は、書道の時間に色紙に筆で“自分の俳句”を書き、落款印を彫り、墨絵の時間に絵を添えて仕上げます。

四年間書道をやってきた成果と、八年間の日修学院の思い出等が詰まった作品です。

書道担任 足立純子



桑原哲哉



さようならCanada! —私の人生最終章へ—

佐々木弘登



未曾有の「東日本大震災」が起きた2011年の晩秋、私は日本での12年に続くカナダでの38年に及ぶ「会社勤め」の人生を終え、それから一月の後、10余年ぶりに日本を訪れた。中国地方の山間部にある懐かしい故郷の町へ帰り、久しく会うことのなかった4人の兄姉たちと、その姉の一人が営む「美容院」で再会して

後、独りトボトボと近くの実家へと向かう長兄の後ろ姿を、何故か「ああ、これが今生の別れなのかな!」という万感の思いで見送った。それから1年半の後、自分より一回り以上も年長であった長兄は亡くなった。享年85、再会した時には「耳は少し遠く」なっていたが、気分はまだ確かで、奇しくも親父とほぼ同じ年齢であった。

それから1年が過ぎた昨年の初秋、私は再び郷里の町から山一つ超えたJRの山間の駅に降り立っていた。振り向けば、駅前には姉の一人が出迎えに来ている。まるでドラマ映画の1シーンを思い出させる光景である。私の故郷の町はそこから山の向こう側、戦国の昔に栄えた安芸の国広島から島根県の松江へと抜ける「出雲街道」沿いにある旧城下町で、往時の中国地方9カ国の旗頭、毛利家120万6千石を築き上げた「毛利元就」発祥の地である。出迎えてくれた姉の運転する車での道すがら、子供の頃によく近所のガキ大将たちと一緒にその近くの山へ登り、山間を疾走する「SL列車」を眺めていたことが、あれはもう半世紀以上も前のことなのに、まるで昨日の出来事であったかのように「走馬灯」の如く追憶のシーンが思い出されて来る。

この度、私が退職後の僅か3年の間において再び郷里の町を訪れたことには特別な理由があった。私がカナダへやって来たのは1973年の夏のこと、今から思い起こせば日本は「高度経済成長」の真っ只中、特に自分が勤めていた鉄鋼業界は技術面でも「世界のレベル」を誇り、海外への輸出に頼らなくても国内需要に対応するだけで、毎月のように何十億円単位の大型プロジェクトを受注していた時代であった。そんな世情にまるで逆行するが如く、私は神戸から転勤後東京での3年に及ぶ「会社勤め」に見切りをつけカナダへ「技術移住」をする決断をした。その時既に29歳になっていた自分は決して若くはなかったが、当時は「人生、何も怖いものも、また失うものも無い!」という気概が今になって思い返せば強くあったのだろうと思う。

去年の4月下旬のこと、妻がここ数十年で何度目かの中国地方の郷里に住む高齢の母親の「遠距離介護」を終えて約半年ぶりにカ

ナダへ帰ってきた。そして、3週目のある夜のこと、娯楽部屋でテレビを観ていた私の横に座り、真剣な面持ちで話を切り出してきた。その時のことは、今になり思い返して見てもまるで「丸腰」の無防備な状態の自分ではあったが、話を聞いて意外と簡単に結論を出すことができた。妻の立場からすれば、今年で満94歳になる郷里の母親の介護を、あと少しの間でも身近にいて面倒を見たいという気持ちがあったのだろう。それは、もし自分の母親が同じように高齢で生きながらえて居たとすれば同様な気持ちにはなったであろうし、そして私たちは夫婦としても、この国で2人の子供を育て、人並みに自分たちの家を構えて生活を立てて来た現状を省みても、「一応カナダには定住できた!」という思いもある。更には、カナダの大学を卒業して以降、自ら進んで日本での就職先を見つけ、もう10年もこちらには帰って来ない札幌市に住む娘も、「私はもうカナダへ帰る気持ちはないの、日本が気に入っているから!」と言う。カナダ生まれの娘にそう告白されて、正直私はかなりのショックを受けた!

かくして、私と妻のここ北米カナダでの42年に及ぶ日系カナダ人としての生活は「最終章」を迎えることとなった。私は心情的にはこの国の広大なる自然、そして仕事を通して知り得た何事にも寛容なカナダ人が好きであったが、古くからの日本での言い伝え通り、「老いては子に従え!」の選択も今では当を得ているのかとも思える。また昨年の春に「古希」を迎えた自身にしても、今後運に恵まれたとしても後15余年も生きるかどうかは分からない。ならば、これからの余生は家族と共に私の生まれ故郷の町へ帰り、子供達の成長を見守りながら、やがては戦国の昔まで遡る先祖代々の「お墓」へ入り、そして再び土へと還ることにしよう。

お終いに、私自身のこの国での38年に及ぶ「現役生活」の間、運に恵まれず「職住近接」の夢はかなわず、常に片路約1時間以上のドライブ生活の連続で、計算して見ればトータルで地球を約40周も回ったことになるが、その間には、時速約120キロ以上で運転していた高速道路で遭難したり、ある厳冬の夜中に会社からの帰途、猛吹雪の中でカントリー道路の「吹き溜まり」へ転落したり、また或る年末の早朝出勤時には、高速道路で「鹿」を撥ね車が大破したりと、今になり思い起こしても一度ならず「命」を失う危険に遭遇して来たのだが、その都度自分の傍には本当に自然なかたちで多くのカナダ人たちが助けに駆けつけてくれた。

さようならCanada、佳き隣人、そしてかつての職場での大勢のカナダ人の仲間たち、数多くの思い出をありがとう!

佐々木弘登 (2015年4月12日記)

「トロントがん&難病哲学 カフェ」へのご案内

店主 マーナ豊澤英子

人は若くても高齢でも身体や心の不調から逃れることはできません。読者の皆様もご自身、あるいは、ご家族の不調でいろんな経験をしていられっやるのではないのでしょうか？

私はこの2年間、自身の経験を中心にしながら健康課題に関する連載を続けてきました。テキスト的(学問)ではなく、生活者としての視点から「健やかなシルバーライフ」を語りたと思ったからです。しかし、さらに一步踏み込んで、もっと情報や想いを共有できる方法はないものか、と考えるようになりました。

また、緑豊かな我が家を独占するのはもったいない、日本語を話す人々が集う場所にしたい、医療看護専門家として歩んできた経験を活かす場にしたい、等など・・・日系社会に私が貢献できることはなんだろうか、と長いあいだ模索していました。

それらを実現する1つの方法として、健康課題や問題を共有できる場づくりを我が家で始めることにしました。「トロントがん&難病哲学カフェ(ウイル・スカーレット・カフェ)」を開店いたします！現在、治療中の方々は医療者やご家族に話せないこともあるでしょう。また、経験者のお話を聞くことができれば、きっと参考になると思われます。一方、ご家族も様々な困難を抱えて、患者本人には言えず悩んでいられっやるかもしれません。

このカフェは、治療やカウンセリングを目的としたものではありません。患者や家族として語り合う場(患者&家族会)です。人はそれぞれに弱さや強さを持っています。価値観も多様です。だからこそ、他者の人生の中に学ぶべきことが多いのです。ここに集う方々は、他者への思いやりと尊厳の気持ちをきつと大事にしてください。互いに励まし合い、学び合いながら、勇気や生きる力を得ることができたら、あるいは今後の方向性を見出すことができたら、と願っています。

がん&難病患者や家族としての経験を共有してくださる方々のご参加を心よりお待ちしております。個人的に、あるいはご家族とご一緒にお越しくださっても構いません。あなたのご要望に添えるように調整いたします。

美味しいティー、コーヒーなど楽しみながら、ウイル・スカーレット通りにあるカフェでゆつくりと語り合いましょ！私も、患者の一人としてその時間を心待ちにしています。時には、店主の十八番料理もお楽しみください。

予約の連絡は7月になってお願いします。開店日&時間については、予約された方々に直接お知らせいたします。個人情報厳守いたします。まずは、月1回程度の開店日を計画しています。

連絡方法:mernagh@rogers.com

Mississauga 905-822-4148

(医学博士 日本登録看護師
老年看護学専門家)



NJCCに将来を託す

三枝 與一



40年の長きにわたるNJCAの活動も、今年度からNJCCと名前を改めJCCCの傘下に入り活動を継続することになり、名実共に日系社会の核になり、今日までJCCCの弱点であった日本伝統、文化を継承する担い手として活動を続けて行くことになった事は大変喜ばしい事です。

カナダ政府が推奨している多様文化主義に則ってトロント地区には各エスニックグループが母国の伝統、文化を次世代に継承する活動を活発に続けています。それらの文化会館では母国語で会議を主催し、その国々の伝統、文化を内外に宣伝、紹介を積極的に行っています。残念ながら現在のJCCCでは日本語が置き去りにされているきらいを感じています。言語は伝統、文化の根幹であり、これらを見捨てて継承は不可能と思います。かつての日系市民協会一世部の念願であり、また戦後移住者の念願でもあるNJCCとJCCCの会議が近い将来日本語で開催され、必然的に伝統、文化が次世代に継承されて行く時が先輩たちの描いていた理想の日系文化会館の姿ではないかと思っています。

新移住者への思い

中山 あつ子

国際協力事業団の資料によると1976年のカナダ移住者は498人となっている。その中に私も入っていることになるが、トロント新移住者協会が誕生したのもその年である。あれから何十年・・・時は流れ2004年のある日、ある日本語学校で「今度のNJCAの総会に出席する人がいないのですが、どなたか代りに出席できる方はいませんか。」という声にそっぽを向いていた私だったが「いかがですか。」という声が私に向けられた。同時に周りの目がいっせいに私に向けられた。「いえいえ・・・私はNJCAのことは何も知りませんし、それに・・・」と言う間に「じゃ、お願いします。」となったのである。出席だけで良いだろうと思ったのが甘かったのである。総会の時に、「推薦理事になりませんか。」、と大勢の前で言われて「いえいえ、私は・・・」と言う前に「それじゃ、お願いします。」とあっさりとして理事にされてしまった。それから今に至っている。10年以上も席を置くとNJCAの内情は分かってくるがなかなか責務あると同時に活動に気合いの入った団体だと思ったものである。

今、20周年記念誌、30周年記念誌の役員理事総覧を見ながらたくさんの方々が役員理事として活動されていたのだと感動の思いにかけられる。そして、同時に時が経った今、たくさんの方々のNJCAを必要とされていた会員の方々の思いが心を駆け巡るのである。今、そのような方々の為に何が出来るだろうと模索の日々が続いている。人は誰もが平等に同じように年を重ねていく。しかしそこに人それぞれに様々な問題を抱える事になるのが人生である。そのようなことを考えながら、NJCCと生まれ変わった中で、これから古き良き時代からの新移住者の仲立ちになるよう務めることが私の思いである。



旅に出よう

森貞 一弘

僕は旅が好きだ。まさしく気まま放題、縮尺の大きな全国地図を開き「何となくこのあたり」という感じで目的地を探す。便利な世の中になったもので、日本国内、どこに行ってもLTE電波が届き、外国人である僕にも、解放されている。現在地と地図上で「ここに行く」というボタンを押せば、天気予報、乗り換え情報(出発・到着時刻、〇〇号、出発ホーム)から、駅構内、駅より目的地への徒歩ナビ(しかも日本語で「20メートル先、右側の陸橋を渡ってください。」てな具合に丁寧な音声案内までしてくれる。そして最後には「お疲れさまでした。」と挨拶してくれる。要するに「何も考えなくてもいい。この薄っぺらい板のような機械(タブレット型PC)に任せておけばよい」のである。



松江～出雲大社～大阪(同窓会)、そして今、大分県白杵に來ている。こういう辺鄙な港町・城下町を散策しながらも、温かく親切にくださる地元の皆さんに触れあうと、日本は素敵な国だと実感できる。(勿論、折角だから美味しいものをいっぱい食べて・・・なんていう欲にまびれた凡人なのだが)苔の生えた石仏を眺めるだけでも落ち着いて、何となく、力がわいてくる気分になるから不思議である。「和の心」とでも言うのだろうか、35年もカナダに住んでも、どこかに、まさしく遺伝子の一部に組み込まれているかの如く存在している。

旅に出よう。ガイドブックやインターネットを通して「行った気分」になるのではなく、自分の足でしっかりと歩いて、実感してみよう。そこには素敵な出逢いが沢山ある。ほんの一時だけ同席することになった他人の旅人たち、街の人たち、観光インフォメーションセンターのお爺さん、駅員さん、バスの運転手さん、道端で座っているお婆さん、いろんな人たちが、皆、「また来よう」という気にさせてくれる。皆、地元の文化・伝統、そして現況を愛し、できる範囲で「街起こし・村起こし」のために向上しようと一生懸命になっているように感じる。トロントの日系社会も同様に、やっていきたいものだ。

のあたるじあ の夜2015

JAPANESE CANADIAN CULTURAL CENTRE



土曜日 7月4日 3pm~8pm

トロント新移住者協会と加盟団体を表彰して
美味しい日系料理を堪能しながら、家族や友達と楽しい夜を過ごしましょう。

早期割引参加費—6月5日迄の申し込み
JCCC会員:\$15, 非会員:\$20, 6才~13才:\$5, 6才未満:無料
10人用テーブル:\$150 (登録の際テーブル名を記載して下さい)

6月5日以降の参加費
JCCC会員:\$20, 非会員:\$25, 6才~13才:\$5, 6才未満:無料, 10人用テーブル:\$200

参加申し込み締め切り: 6月26日

 JAPANESE CANADIAN CULTURAL CENTRE 日系文化会館
6 Garamond Court, Toronto ON M3C 1Z5
416-441-2345 www.jccc.on.ca jccc@jccc.on.ca



JCCC行事スケジュール・お知らせ

5月30日(土)	桜ガラ
6月11日(木)	トロント日本映画祭開幕
6月27日(土)	永田社中コンサート
7月1日(水)	カレドンピクニック
7月4日(土)	ノスタルジアナイト
7月11日(土)	夏祭り

JCCCライブラリースケジュール

火・木・金	10am – 2pm (閲覧のみ)
水・土	1pm – 5pm (貸出し)
日・月	休館
休館日	7月: 1日、8日、18日、22日 8月: 1日、5日、19日、29日 9月: 5日
夏期開館日	7月: 4日、11日、15日、25日、29日 8月: 8日、12日、22日、26日

ライブラリーでのボランティア活動にご興味のある方は
416-441-2345、内線228までご連絡ください。

ご挨拶



会員の皆様のお陰でNJCAの発展がありました事と感謝しております。今後も私達の活動を見守って下さるよう、お願い申し上げます。会員の皆さんにこれからも(NJCCになってからも)関

わって頂きたいと思っておりますので、どうぞご協力よろしく申し上げます。今後は、JCCCと共に日系他団体とも協力し、窓口を広く開いて、カナダ社会との繋がりを大事にしていくつもりであります。(原あず)

[編集後記]



春ですね~♪お天気が清々しく、何か新しいことが始まるようなワクワクした気持ちになります。JCCC

に桜の新しい苗木がたくさん植えてあることに今年気がつきました。これから先、素晴らしい花を咲かせてくれることでしょう!(編集:レイノルズ洋子)



最近、両親に会いに日本へ帰省して参りました。遠く離れているからこそ日本の良さ、家族

の大切さを感じますよね。第二の故郷であるトロントで皆様と日本文化や大切な人達を大事にしていけたらと思います。(レイアウト: 松岡実穂)